

産科オープンシステム利用妊婦アンケート結果

妊婦さまに対する産科オープンシステムに関するアンケート集計結果

■対象者 産科オープンシステムを利用し分娩・退院に到った妊婦

■有効回答数 5件（回収率 62%）

Q1 産科オープンシステムをどのようにして知りましたか？

かかりつけの診療所	5
ホームページ	0
雑誌	0
その他	0

Q2 産科オープンシステムを今回、妊娠するより前から知っていましたか？

知っていた	0
名前は知っていた	0
知らなかった	5

Q3 産科オープンシステムを利用してよかったですか？

よかった	5
とくに何も思わない	0
今後は利用しない	0

Q4 オープンシステムを利用してよかったと思うことはなんですか？

「精神的な安心」が 100%を占めた。

*コメントより 入院中、出産後、退院前にかかりつけの医師がお見舞いに来てくれたことが精神的に非常に安心した。

Q5 オープンシステムについて「とくに改善の必要がある」と思うことはなんですか？

「特になし」

「分娩費用が 5 年前の約 3 倍になっていて驚いたが、安心して出産出来る為には仕方ないと思う」

「パンフレットには、診療所の医師か大学病院の医師に取り上げてもらうか選択できると書いてあるが、診療所でその選択ができる雰囲気はなく、言い出せなかった。本当に選ぶことは可能だったのか？」

産科オープンシステム登録医アンケート結果

登録医に対する産科オープンシステムに関するアンケート集計結果

■対象者 産科オープンシステムに登録した三重県内の医師

■有効回答数 12件 (回収率 60%)

Q1 産科オープンシステムを利用しましたか？

利用した 6 (50%)

利用しなかった 6 (50%)

Q2 (1の問いで「はい」と答えた医師に関して) 利用してよかったと思いますか？

よかった 5 (83%)

とくに何も思わない 1 (17%)

今後は利用しない 0

Q3 (1の問いで「はい」と答えた医師に関して) その理由は何ですか？

○共同診療をすることで、きめ細かい治療内容を的確な時期に提供できる

○知識をフィードバックしてもらえるので、スキルアップになる

○患者様を紹介し易くなった

○共通診療ノート等、患者様にとってメリットがある

○時間外に自分以外の施設へ患者さまが安心してかかれる

Q4 (1の問いで「いいえ」と答えた医師に関して) その理由は何ですか？

○希望する患者さまがいなかった

○大学病院と地域性が大きく違う

Q5 オープンシステムについて「とくに改善の必要がある」と思うことはなんですか？

○県内の拠点病院の整備、オープンシステムの導入

○マスコミなどへの宣伝が足りない

○患者様のメリット↑、紹介者の負担↓又は→が理想的だが、事務的な手続きが煩雑で、紹介者の負担が↑になっている

○オープンシステムで紹介してよい患者さまの定義が難しい

○三重県では緊急以外、大学病院にかかりたくないという妊婦が多い。大都市では設備のある大病院を希望する妊婦が多いが、三重県では綺麗な個人病院を選ぶ人が多いので、妊婦に意識革命が必要である

5. 滋賀県

仙台市産科セミオープンシステム診療マニュアル

2008年2月1日(金)
厚生労働省 共用第7会議室

周産期医療施設オープン病院化モデル事業

滋賀医科大学 母子診療科
野田 洋一、喜多 伸幸

滋賀医科大学医学部附属病院
産科オープンシステム
2006年1月1日～2007年12月31日

登録産婦人科医師数	26名
登録施設数	24施設
登録助産師数	6名